平賀駅周辺まちづくりとファミレス誘致に関する一般質問　～人が集い、にぎわいが生まれるまちへ～

1　質問の背景・市民の声



- 子育て世帯や共働き家庭から、飲食店の要望が多い
- 全国展開のファミリーレストランは、生活利便性の向上、若年層の定住促進、地域の魅力向上につながる

2　これまでの質疑応答の主な内容

質問：市内にファミレスはあるのか？	答弁：市内には全国展開のファミリーレストランはない。
質問：立地していない理由は？	答弁：商圏人口が少ないこと、車で十数分の弘前市に飲食店が多数あることが主な要因。
質問：市として誘致を検討しているのか？	答弁：現時点で特定の誘致は検討していない。ただし、飲食機能の充実はにぎわいづくりに重要であり、基本構想の中で検討する。

3　議員の主な主張・提案

1. **中心市街地のにぎわいが出店の鍵**
   人のにぎわいがある場所に事業者は投資する。まずは中心市街地を整備し、出店したいと思われるまちの姿勢を示すことが、ファミレス誘致の第一歩。
2. **基本構想はまちづくりの設計図**
   課題と将来像を明確にし、関係者と連携して実現可能な計画を策定すべき。
3. **通行量調査の実施が重要**
   歩行者・車両の通行量を定期的に調査し、数値に基づいて店舗配置やイベントなどを検討すべき。
4. **産直施設の整備を提案**
   平川市の強みである農産物を扱う産直施設を整備し、人を呼び込むランドマークに。
5. **物流・交通の新たな動線を構築**
   スマートインターチェンジからイオンタウン平賀、平賀駅を経由し、工業団地群につなぐ物流動線により、交通量の増加と地域全体の活性化を図る。

4　平賀駅周辺まちづくりのイメージ　～交通の流れを生かし、人が集い、にぎわいが生まれるまちへ～



5　この動線で期待される効果

交流人口の増加	経済の活性化	雇用の創出	子育て・生活環境の向上	平川市の魅力向上
市内外から人が集まる	商業・飲食・サービスの拡大	企業立地や新たな事業機会	ファミレスなど安心して利用できる飲食店	農産物・観光・産業の連携によるまちのブランド化

6　中心市街地活性化のプロセス

1 現状分析・課題把握	2 計画策定（基本構想・基本計画）	3 事業実施	4 官民連携・住民参画	5 モニタリング・評価
・交通量・人の流れ ・市民ニーズ ・強み・弱みの整理	・課題と将来像の明確化 ・実現可能な計画づくり	・基盤整備 ・店舗誘致 ・イベント実施	・事業者との連携 ・市民の意見反映	・交通量調査 ・効果検証 ・計画の見直し

→ 1 → 2 → 3 → 4 → 5 →

このプロセスを繰り返し、まちづくりを段階的に高度化していく